



2023年11月13日

各 位

会 社 名 株式会社E T Sホールディングス
代表者名 代表取締役社長 加藤 慎 章
(コード番号 1789 東証スタンダード)
問合せ先 経営管理部長 早 川 潔
電話番号 03-5957-7661

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年11月21日付「2022年9月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました2023年9月期(2022年10月1日～2023年9月30日)の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

2023年9月期通期業績予想の修正(2022年10月1日～2023年9月30日)

(1)業績予想の修正

・連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり当 期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	7,066	301	271	190	29.83
今回修正予想(B)	8,074	281	312	76	11.94
増減額(B-A)	1,008	△19	41	△113	—
増減率(%)	14.3	△6.5	15.5	△60.0	—
(ご参考)前期実績 (2022年9月期通期)	6,688	266	263	212	33.40

・個別業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当 期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	5,316	212	187	130	20.41
今回修正予想(B)	5,865	183	167	△33	△5.19
増減額(B-A)	549	△28	△19	△163	—
増減率(%)	10.3	△13.6	△10.3	△125.4	—
(ご参考)前期実績 (2022年9月期通期)	4,670	107	99	53	8.47

(2)修正の理由について

①連結業績

個別業績および子会社の工事が順調に進捗したことから、売上高において予想を上回る見通しとなりましたので、上方修正いたします。一方、営業利益および経常利益はほぼ予想通りだったものの、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、個別業績における訴訟費用、投資有価証券評価損、および子会社整理損の計上などにより7千6百万円となり、予想を下回る見通しとなったため、下方修正いたします。

②個別業績

電力事業および設備事業ともに進行基準工事の手持ち工事が順調に進捗したことから、売上高は、予想を上回る見通しとなっておりますが、材料費および労務費の高騰等により営業利益および経常利益は予想を下回る見通しとなりました。また、訴訟費用として7千3百万円、投資有価証券評価損として7千3百万円、および子会社整理損として1千5百万円を特別損失として計上したことにより、当期純利益が△3千3百万円となり、予想を下回る見通しとなったため、下方修正いたします。

(3)特別損失の計上及びその内容

上記(2)に記載のとおり、特別損失として、2019年8月に株式会社アークデザインインターナショナルより提起された工事請負代金5千5百万円の支払いを求める訴訟の判決が下りたため、訴訟費用7千3百万円、当社が保有する投資有価証券のうち、簿価に比べて実質価値が著しく下落したと判断したものについて、投資有価証券評価損7千3百万円、海外子会社の整理に伴う費用として子会社整理損1千5百万円を計上することといたしました。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想に関する記述は、当社が現在入手可能な情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、リスクや不確定要素等の要因が含まれております。実際の業績等は様々な要因により、これら業績予想とは異なる結果となる可能性があります。

以 上